



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月25日

上場会社名 石原ケミカル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4462 URL <http://www.unicon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 時澤 元一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 直哉 (TEL) 078-681-4801
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,374	4.9	442	14.9	496	19.7	330	231.8
25年3月期第2四半期	7,981	1.7	385	0.7	414	3.3	99	△60.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第2四半期	44.31		—					
25年3月期第2四半期	13.35		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,031	14,264	79.1
25年3月期	17,430	13,934	79.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 14,264百万円 25年3月期 13,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00			
26年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,970	4.2	960	26.3	1,000	21.7	660	77.9	88.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	7,460,440株	25年3月期	7,460,440株
26年3月期2Q	280株	25年3月期	280株
26年3月期2Q	7,460,160株	25年3月期2Q	7,460,184株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報（2）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策、金融政策等の効果もあり、企業収益に改善が見られるなど、全体としては景気回復に明るい兆しが現れております。一方で、円安進行による原材料価格の上昇など国内景気の下振れ懸念があり、依然として先行きは不透明な状況となっております。このような状況下、自動車用化学製品等及び工業薬品セグメントを中心に伸びを示しました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高8,374百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益442百万円（前年同四半期比14.9%増）、経常利益496百万円（前年同四半期比19.7%増）、四半期純利益330百万円（前年同四半期比231.8%増）となりました。

セグメント別の売上高及び概要は、次のとおりであります。

(セグメント別の売上高)

(百万円未満切捨表示)

セグメント		前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	増減	平成25年3月期
金属表面処理剤 及び機器等	製品	1,842	1,737	△104	3,504
	商品	2,768	2,908	139	6,400
計		4,611	4,646	35	9,905
電子材料	製品	148	136	△12	280
	商品	268	275	6	519
計		417	411	△5	799
電子関連分野計		5,028	5,058	30	10,704
自動車用化学製品等	製品	677	892	214	1,241
	商品	195	195	△0	378
計		873	1,087	213	1,619
工業薬品	製品	115	109	△6	227
	商品	1,964	2,119	154	3,736
計		2,080	2,228	148	3,963
総計		7,981	8,374	392	16,288
内訳	製品	2,783	2,875	91	5,254
	商品	5,197	5,498	300	11,034

(セグメント別の業績の概要)

<金属表面処理剤及び機器等>

当セグメントが対応する電子部品業界は、デジタル家電やパソコン需要が低迷している中、スマートフォン、タブレット関連の需要は引き続き堅調に推移しました。このような状況の中、スマートフォン、タブレットに搭載される先端電子部品用ウエハーバンプめっき液は、韓国、台湾のユーザーを中心に伸びを示しました。

一方、化成処理液自動管理装置は、スマートフォン、タブレットの市場拡大に対応したプリント基板、タッチパネル関連のユーザーの海外工場を中心に管理装置、試薬の拡販に努めましたが、一部ユーザーでの設備投資の見合わせ、延期により前年同期を下回りました。

これらの結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は、4,646百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

<電子材料>

電子材料のニッケル超微粉は、ユーザーのセラミックコンデンサの生産状況もあり前年同期並みとなりました。

また、機能材料加工品は、半導体、液晶関連ともに国内市場が依然低迷しており、価格競争の激化、大手メーカーの低価格受注が目立しました。

これらの結果、電子材料の売上高は、411百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

<自動車用化学製品等>

当セグメントが対応する自動車アフターマーケットは、車体構造の変化による部品、ケミカル品交換期間の長期化や、自動車に対する価値観の低下により軽微なスリキズの補修をしない等、市場規模は縮小傾向にあります。一方、自動車用エアコンフィルターの装着が標準装備となり、エアコンフィルター交換需要が増加しております。このような状況の中、エアコンフィルター交換作業に合わせエアコン洗浄を同時に施工するビジネスを継続して提案し、新製品を投入したこともあり、エアコン洗浄剤が順調に推移いたしました。また、補修用コンパウンドの新製品を投入し、説明会、同行販売を実施したことによりコンパウンドも順調に推移いたしました。

これらの結果、自動車用化学製品等の売上高は、1,087百万円（前年同四半期比24.5%増）となりました。

<工業薬品>

当セグメントが対応する鉄鋼業界は、国内粗鋼生産量は前年を上回るなど回復基調が鮮明になり建設を中心に国内の鋼材需要が好調に推移したほか、円安効果による中国、アジア諸国への鋼材輸出に回復がみられ、当社的高级鋼板向け特殊薬剤の使用量が増加しました。

これらの結果、工業薬品の売上高は、2,228百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,307	2,402,662
受取手形及び売掛金	3,029,432	3,168,498
電子記録債権	182,334	302,819
有価証券	57,294	109,317
商品及び製品	493,102	355,552
仕掛品	26,942	24,224
原材料及び貯蔵品	288,479	283,384
その他	153,331	146,735
貸倒引当金	△321	△347
流動資産合計	6,678,903	6,792,845
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,539,975	2,097,815
その他(純額)	2,036,577	1,790,869
有形固定資産合計	3,576,552	3,888,685
無形固定資産		
	44,243	39,623
投資その他の資産		
投資有価証券	4,661,704	4,861,066
その他	2,482,262	2,452,086
貸倒引当金	△13,021	△2,521
投資その他の資産合計	7,130,946	7,310,631
固定資産合計	10,751,741	11,238,939
資産合計	17,430,645	18,031,785
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,286,268	2,413,490
1年内返済予定の長期借入金	24,000	20,000
未払法人税等	77,528	159,835
賞与引当金	149,000	157,000
役員賞与引当金	32,400	26,400
その他	479,209	530,826
流動負債合計	3,048,406	3,307,552
固定負債		
長期借入金	8,000	—
役員退職慰労引当金	269,096	—
資産除去債務	38,512	38,512
その他	131,670	420,736
固定負債合計	447,279	459,249
負債合計	3,495,686	3,766,801

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,741,909	1,741,909
利益剰余金	10,616,875	10,835,514
自己株式	△290	△290
株主資本合計	13,805,775	14,024,414
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	129,183	240,569
評価・換算差額等合計	129,183	240,569
純資産合計	13,934,958	14,264,984
負債純資産合計	17,430,645	18,031,785

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,981,783	8,374,049
売上原価	6,051,171	6,234,982
売上総利益	1,930,612	2,139,066
販売費及び一般管理費		
販売促進費	20,912	15,832
運賃及び荷造費	136,718	118,013
旅費及び交通費	68,268	72,679
報酬給与手当及び賞与	314,090	385,319
賞与引当金繰入額	78,419	81,289
役員賞与引当金繰入額	10,800	26,400
退職給付引当金繰入額	11,266	12,980
役員退職慰労引当金繰入額	11,161	—
福利厚生費	88,288	92,854
研究開発費	457,541	471,553
減価償却費	39,905	63,425
貸倒引当金繰入額	32	25
その他	307,955	355,895
販売費及び一般管理費合計	1,545,360	1,696,269
営業利益	385,251	442,797
営業外収益		
受取利息	702	1,274
有価証券利息	19,696	15,432
受取配当金	18,576	19,401
その他	14,301	29,563
営業外収益合計	53,276	65,671
営業外費用		
支払利息	1,232	1,143
売上割引	1,036	851
有価証券売却損	1,045	—
有価証券償還損	2,446	—
為替差損	8,054	—
コミットメントフィー	9,125	9,160
その他	1,026	1,021
営業外費用合計	23,967	12,176
経常利益	414,560	496,292
特別利益		
固定資産売却益	—	151
特別利益合計	—	151

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
特別損失		
固定資産除却損	854	14,068
投資有価証券売却損	3,781	—
投資有価証券評価損	168,755	—
特別損失合計	173,391	14,068
税引前四半期純利益	241,169	482,375
法人税等	141,561	151,833
四半期純利益	99,608	330,541

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	241,169	482,375
減価償却費	166,580	182,061
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	32	△10,474
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,000	8,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,800	△6,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△32,289	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	568	△269,096
受取利息及び受取配当金	△39,169	△36,418
支払利息	1,232	1,143
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	7,273	—
為替差損益 (△は益)	535	592
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	168,755	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△151
固定資産除却損	438	9,989
売上債権の増減額 (△は増加)	△358,592	△259,550
たな卸資産の増減額 (△は増加)	235,846	145,363
仕入債務の増減額 (△は減少)	51,429	127,222
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	38,963	6,911
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△24,435	△26,455
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△31,483	△3,748
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△709	289,500
小計	416,346	641,264
利息及び配当金の受取額	38,235	35,196
利息の支払額	△1,232	△1,143
法人税等の支払額	△109,633	△70,939
営業活動によるキャッシュ・フロー	343,716	604,378
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	△7,000
定期預金の払戻による収入	9,000	9,000
有価証券の取得による支出	△658,851	△303,578
有価証券の売却及び償還による収入	333,066	193,444
有形固定資産の取得による支出	△171,391	△365,515
有形固定資産の売却による収入	—	180
無形固定資産の取得による支出	△11,367	△7,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△502,543	△481,104

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	400,000
短期借入金の返済による支出	△350,000	△400,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△14,000	△12,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△34,092	△35,397
配当金の支払額	△111,888	△111,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,980	△159,326
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,549	△592
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△274,357	△36,645
現金及び現金同等物の期首残高	2,983,662	2,339,307
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,709,304	2,302,662

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。